

インマヌエル中目黒キリスト教会

2015年8月23日聖日礼拝

「わたしは知りません
～ イエスさまの目線～」

ヨハネの福音書9章1節-41節

河村従彦牧師



聖書朗読

新約聖書

ヨハネの福音書9章1節-41節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp178 ~ / 第三版の聖書はp195 ~

- 1 またイエスは道の途中で、生まれつきの盲人を見られた。
- 2 弟子たちは彼についてイエスに質問して言った。「先生。彼が盲目に生まれついたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。その両親ですか。」
- 3 イエスは答えられた。「この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです。」
- 4 わたしたちは、わたしを遣わした方のわざを、昼の間に行わなければなりません。だれも働くことのできない夜が来ます。

- 5 わたしが世にいる間、わたしは世の光です。」
- 6 イエスは、こう言ってから、地面につばきをして、そのつばきで泥を作られた。そしてその泥を盲人の目に塗って言われた。
- 7 「行って、シロアム(訳して言えば、遣わされた者)の池で洗いなさい。」そこで、彼は行って、洗った。すると、見えるようになって、帰って行った。
- 8 近所の人たちや、前に彼が物ごいをしていたのを見ていた人たちが言った。「これはすわって物ごいをしていた人ではないか。」

- 9 ほかの人、「これはその人だ」と言い、また
ほかの人、「そうではない。ただその人に似
ているだけだ」と言った。当人は、「私がその
人です」と言った。
- 10 そこで、彼らは言った。「それでは、あなたの
目はどのようにしてあいたのですか。」
- 11 彼は答えた。「イエスという方が、泥を作って、
私の目に塗り、『シロアムの池に行って洗いな
さい』と私に言われました。それで、行って洗
うと、見えるようになりました。」
- 12 また彼らは彼に言った。「その人はどこにい
るのですか。」彼は「私は知りません」と言った。

- 13 彼らは、前に盲目であったその人を、パリサイ人たちのところに連れて行った。
- 14 ところで、イエスが泥を作って彼の目をあけられたのは、安息日であった。
- 15 こういうわけでもう一度、パリサイ人も彼に、どのようにして見えるようになったかを尋ねた。彼は言った。「あの方が私の目に泥を塗ってくださって、私が洗いました。私はいま見えるのです。」

- 16 すると、パリサイ人の中のある人々が、「その人は神から出たのではない。安息日を守らないからだ」と言った。しかし、ほかの者は言った。「罪人である者に、どうしてこのようなしるしを行うことができよう。」そして、彼らの間に、分裂が起こった。
- 17 そこで彼らはもう一度、盲人に言った。「あの人が目をあけてくれたことで、あの人を何だと思っているのか。」彼は言った。「あの方は預言者です。」
- 18 しかしユダヤ人たちは、目が見えるようになったこの人について、彼が盲目であったが見えるようになったということを信ぜず、ついにその両親を呼び出して、

- 19 尋ねて言った。「この人はあなたがたの息子で、生まれつき盲目だったとあなたがたが言っている人ですか。それでは、どうしていま見えるのですか。」
- 20 そこで両親は答えた。「私たちは、これが私たちの息子で、生まれつき盲目だったことを知っています。」
- 21 しかし、どのようにしていま見えるのかは知りません。また、だれがあれの目をあけたのか知りません。あれに聞いてください。あれはもうおとなです。自分のことは自分で話すでしょう。」

- 22 彼の両親がこう言ったのは、ユダヤ人たちを恐れたからであった。すでにユダヤ人たちは、イエスをキリストであると告白する者があれば、その者を会堂から追放すると決めていたからである。
- 23 そのために彼の両親は、「あれはもうおとなです。あれに聞いてください」と言ったのである。
- 24 そこで彼らは、盲目であった人をもう一度呼び出して言った。「神に栄光を歸しなさい。私たちはあの人を罪人であることを知っているのだ。」

- 25 彼は答えた。「あの方が罪人かどうか、私は知りません。ただ一つのことだけ知っています。私は盲目であったのに、今は見えるということです。」
- 26 そこで彼らは言った。「あの人はおまえに何をしたのか。どのようにしてその目をあけたのか。」
- 27 彼は答えた。「もうお話ししたのですが、あなたがたは聞いてくれませんでした。なぜもう一度聞こうとするのです。あなたがたも、あの方の弟子になりたいのですか。」
- 28 彼らは彼をののしって言った。「おまえもあの者の弟子だ。しかし私たちはモーセの弟子だ。」

- 29 私たちは、神がモーセにお話しになったことは知っている。しかし、あの者については、どこから来たのか知らないのだ。」
- 30 彼は答えて言った。「これは、驚きました。あなたがたは、あの方がどこから来られたのか、ご存じないと言う。しかし、あの方は私の目をおあけになったのです。」
- 31 神は、罪人の言うことはお聞きになりません。しかし、だれでも神を敬い、そのみこころを行なうなら、神はその人の言うことを聞いてくださると、私たちは知っています。
- 32 盲目に生まれついた者の目をあけた者があるなどとは、昔から聞いたこともありません。

- 33 もしあの方が神から出ておられるのでなかったら、何もできないはずです。」
- 34 彼らは答えて言った。「おまえは全く罪の中に生まれていながら、私たちを教えるのか。」そして、彼を外に追い出した。
- 35 イエスは、彼らが彼を追放したことを聞き、彼を見つけ出して言われた。「あなたは人の子を信じますか。」
- 36 その人は答えた。「主よ。その方はどなたでしょうか。私がその方を信じることができますように。」
- 37 イエスは彼に言われた。「あなたはその方を見たのです。あなたと話しているのがそれです。」

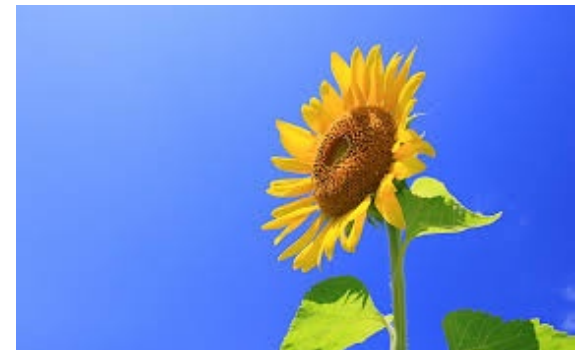
- 38 彼は言った。「主よ。私は信じます。」そして彼はイエスを拝した。
- 39 そこで、イエスは言われた。「わたしはさばきのためにこの世に来ました。それは、目の見えない者が見えるようになり、見える者が盲目となるためです。」
- 40 パリサイ人の中でイエスとともにいた人々が、このことを聞いて、イエスに言った。「私たちも盲目なのですか。」
- 41 イエスは彼らに言われた。「もしあなたがたが盲目であったなら、あなたがたに罪はなかったでしょう。しかし、あなたがたは今、『私たちは目が見える』と言っています。あなたがたの罪は残るのです。」

説教

「わたしは知りません
～イエスさまの目線～」

ヨハネの福音書9章1節-41節

河村従彦師



I イエスさまの目線と人間の目線

A ハンディのある人たち

- 1 当時のセーフティー・ネット
- 2 イエスさまの目は人に
- 3 そういう受け止めをされるようになった背景

B 人はみな、それぞれに人生が与えられている

C 受け止め方の2例

1 原因/悪者探し

当時の社会通念

- (1) 運命論的見解(因果応報)
- (2) 懲罰論的見解

2 目的/意味探し

当事者性

人格の尊重

3 神のわざが現れるためという発言の違和感

4 間違った神さまイメージ

Q 神さまはご自分のみわざを現すためであれば私の人生はどうでもいいのですか？

Q わたしの人生は、神さまのみわざをあらわす道具なのですか？

D イエスさまの「回答せず」

Q だれが罪を犯したのかという問いは、ハンディを持った人に対して向けられれば良いのか？

Q この方はなぜこのような問題を抱えておられるのだろうか？

Q 自分はなぜこの方と同じではないのだろうか？

Q ハンディがなければ、自分の存在には問題がないと言えるのだろうか？

E 問題点 ~ 「自分に見える」という姿勢

II 神さまのわざが現れるとは

A こういう意味ではない

B 神さまがしてくださるという視点

C 二つの出来事

D ご自分を隠される姿勢

1 その人がどこに行ってしまったのか

2 イエスさまの基本ポリシー ~ 神の国とは

E 追放されたところに近づかれる姿勢

1 環境を選んでくださった

2 存在の尊重

3 意味

4 この人が整理しなければならなかったこと

(1) 不条理に対する問い

(2) 存在の意味 ~ doingとbeing

III イエスさま目線

A 聖書が現代に語る存在の意味

- 1 人間は存在そのものが認知されると最も安心できる
- 2 社会では「いること」で肯定されることはない
- 3 「居場所」がないという感覚は苦しみとなる
- 4 「いる」ことの深い意味が問われている現代
高齡化社会/子どもに残せるメッセージ

B 「いる」恵み

C 自分への目線 ~ 外側と内側

D 人を見る目線 ~ 活動ではなく存在を見る
外側ばかりに目が向く → 否定的な見方
内側に目が向く → 肯定的な見方

しめくりに イエスさまの目線は？